

最終報告書

ラットにおける CELA (pH 6.5・50 ppm・弱酸性次亜塩素酸水) の急性経口毒性試験
【GLP 非適用】

試験番号: B827 (560-001)

2009年10月16日

試験委託者

インテگران株式会社
株式会社 マッキンリー

財団法人 食品農医薬品安全性評価センター

Page 1 of 16

本書類は原本を複写したものであり
原本と相違ないことを保証します。

2009年10月16日
試験責任者

杉 林 氏

要 約

本試験では、被験物質 CELA (pH 6.5・50 ppm・弱酸性次亜塩素酸水) の急性経口毒性を検討した。OECD テストガイドラインに定められた投与可能最大量である 20 mL/kg を投与量として、5 匹の Slc: Wistar 系雌性ラットに、約 16 時間絶食の条件下で、単回強制経口投与した。投与後 14 日間、動物の死亡、一般状態および体重推移を観察した。また、観察期間終了後に全身諸器官の肉眼観察 (剖検) を実施した。

その結果、観察期間中に死亡は認められず、動物の一般状態、体重推移および剖検所見に異常は認められなかった。

以上の結果から、本試験条件下における CELA (pH 6.5・50 ppm・弱酸性次亜塩素酸水) の概略の致死量は 20 mL/kg より大きく、急性経口毒性は極めて弱いものと考えられた。